

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390500151
事業所名	グループホームフレンズハウス和楽家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。新型コロナ感染症拡大防止のため地域行事が中止となったり、ホーム行事への地域住民の参加はなくなってしまったが、天候を見ながら散歩やドラッグストアへの買い物に出かける際には住民と挨拶を交わしている。3年ぶりに小学校で開催の学区の敬老会には入居者が参加した。また、ホーム行事へのボランティア来訪を状況を見ながら都度判断し、民舞や楽器演奏を楽しんでいる。今後実習生の受け入れや職場体験等も復活し、様々な団体と交流していきたいと考えている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2か月ごとに町内会長、学区や区の民生委員協議会会長、いきいき支援センター職員の参加を得て対面で開催している。運営状況、活動内容や身体拘束について報告し、地域やいきいき支援センターから情報を得たりして協働関係を深めている。参加者間で活発に意見交換が行われ、要望等は職員にも伝え、運営やサービス向上に反映できるよう努めている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区担当者とは何かあれば相談や情報交換、提案できる体制にあり協力関係が築かれている。いきいき支援センターとは講習会開催等で連携を取り合っている。オンライン開催での研修には参加できていないが、外国籍職員が介護初任者研修に随時参加している。区主催の事業者連絡会に管理者が参加し、職員のスキルアップに市主催のキャリアアップ研修の募集があれば受講したいと考えている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者・家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会はリモートや対面での制限付き等感染状況を見ながら判断している。家族からの意見や要望は面会時や電話、ケアプラン検討委員会時に日常の様子を伝えながら聞き取り、内容を職員間で共有・検討し、サービス向上に努めている。毎月発行の「通信やお便り」に写真や個別の様子を記載し、家族の安心や情報共有に繋げている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								

備考欄

--